

■ 21世紀の人類社会における最大の課題のひとつについて考える ■  
**発酵学者・小泉武夫氏と作家・阿川佐和子氏による  
特別記念講演会「食と健康」を開催**

【日時】9月24日(土) 13:00~14:30 【場所】千里山キャンパス 第2学舎BIGホール100

関西大学ではこのたび、創立130周年記念事業の一環で、発酵学者の小泉武夫氏と作家でエッセイストの阿川佐和子氏をお招きし、21世紀の人類社会における最大の課題のひとつである「食と健康」について考える講演会を、9月24日(土)13:00より千里山キャンパスにて開催します。

当日は、138冊もの著書や多数の受賞歴を誇る発酵学の第一人者・小泉武夫氏に、「発酵はチカラなり」というテーマで講演いただきます。続いて、「和食と洋食」をテーマに、報道番組でキャスターを務め、現在は作家・エッセイストとしてテレビを中心に各方面で活躍されている阿川佐和子氏と小泉氏による対談を行います。お二人の知識や経験に基づく講演・対談で「食と健康」に関する見識を深めることはもちろん、旧知の仲であるお二人の息の合ったトークにも注目です。

本学では理工系学部を中心として、「食」に関する研究活動に積極的に取り組んでいます。河原秀久教授(化学生命工学部)が開発した「不凍タンパク質」を活用した餅や冷凍食品、老川典夫教授(同)による「D-アミノ酸」を活用したノンアルコール飲料や黒酢、山本秀樹教授(環境都市工学部)による廃棄物からの有用成分を活用した「梅みかん塩」など、本学の研究成果から企業や自治体と連携して多数の商品化を実現しています。

つきましてはご多忙の折恐縮ですが、本講演会の取材についてご検討をよろしくお願い申し上げます。

記

【日時】 9月24日(土) 13:00~14:30 <開場・報道受付 12:00>

・13:00~13:05 挨拶:楠見晴重(関西大学学長)

・13:05~13:50 講演「発酵はチカラなり」:小泉 武夫 氏(発酵学者)

・13:50~14:30 対談「和食と洋食」:小泉 武夫 氏 × 阿川 佐和子 氏(作家・エッセイスト)

【場所】 関西大学千里山キャンパス 第2学舎BIGホール100

吹田市山手町3-3-35(阪急「関大前」駅下車 北出口から徒歩約10分)

【対象】 どなたでも可 【定員】 1,000名 【参加費】 無料 ※好評につき参加申込は終了しています。

以上

【講演者のご紹介】

◆小泉 武夫 氏(発酵学者)

1943年福島県小野町の酒造家に生まれる。東京農業大学農学部醸造学科で醸造学、発酵学を学び、同大学で長く発酵学を教授。東京農業大学名誉教授。ベストエッセイスト(日本エッセイストクラブ)、ギャラクシー賞、産経児童出版文化賞、学校図書館出版賞など受賞多数。著書は単著138冊を数える。日本経済新聞に『食あれば楽あり』を24年にわたり連載中。

◆阿川 佐和子 氏(作家・エッセイスト)

東京出身。慶應義塾大学文学部卒業。TBS「情報デスク Today」「筑紫哲也 NEWS23」「報道特集」でキャスターを務める。以後、執筆を中心にインタビュー、テレビ等幅広く活動。1999年『ああ言えばこう食う』(檀ふみとの共著)で第十五回講談社エッセイ賞、2000年『ウメ子』で第十五回島清恋愛文学賞、2014年第六十二回菊池寛賞を受賞。近著に『強父論』(文藝春秋)。

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当:石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。

